

祝人間国宝認定記念トーク&文楽公演

文楽人形遣い

吉田玉男

の世界



©青木信二

八尾で生まれ、人形遣いを極めて
半世紀、不屈の精神と磨き抜かれた芸に触れる

令和7年(2025) **3月2日(日)** 14:00開演 (13:30開場) 16:00頃終演予定
八尾市文化会館 プリズムホール 小ホール

チケット

全席指定
税込

チケット発売
各日10:00~

プリズムクラブ(友の会)
先行発売

2025年1月10日(金)

一般前売発売

1月11日(土)

一般 4,000円(当日300円増)

八尾市民特別料金 3,600円(在住・在勤・在学/前売のみ/プリズムホールでのみ取扱い)

割引 2,800円[障がいのある方と介添えの方(1名様)/25歳以下](当日300円増)

文楽を広げよう!“Ticket to BUNRAKU”シート
500円(25歳以下・外国籍の方対象/数量・座席エリア限定)



詳細は
コチラ

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください ※一般以外の券種は要証明書

チケットのお求め・お問合せ

プリズムホールチケットカウンター

072-924-9999

お電話でのご予約はお席をお選びいただけません。

プリズムホールウェブサイトチケット

<https://prismhall.jp/>

9:00~19:00

月曜休館(祝祭日の場合は翌平日)

※12/29~1/3休館

お席をお選びいただけます!

※公演3日前まで

◆ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:56616]

◆e+(イープラス) <https://eplus.jp>

道行初音旅

義経千本桜

よしつねせんぼんざくら

第三部

聞き手 亀岡典子
(産経新聞大阪本社特別客員記者)

吉田玉男氏記念トーク

第二部

二人三番叟

にんさんばそう

第一部

PRISM HALL

八尾市文化会館

〒581-0803 大阪府八尾市光町2-40
TEL.072-924-5111 FAX.072-924-5010
<https://prismhall.jp/> Eメール info@prismhall.jp
大阪難波から約25分・大阪から約35分の近さ



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



八尾市芸術文化推進基本計画
施策3—①鑑賞機会の提供

ミッション:①創造性豊かな本物の作品がもたらす
感動と生きる意欲
i 地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信

本公演は、八尾市出身の文楽人形遣い・吉田玉男さんが令和5年に人間国宝に認定されたことを記念して開催する公演です。お祝い事にふさわしい二人三番叟からはじまり、57年にも及ぶ人形遣い人生の中で、何を考え、どういう経験をして芸の道を歩んでこられたのかを語るトーク、そして締めくくりは玉男さんが出演する文楽の名作を上演します。ドラマチックで美しい文楽の世界と玉男さんの磨きぬかれた技と心に触れる特別公演をお楽しみください。

二代目吉田玉男さんメッセージ

人形浄瑠璃文楽は、太夫・三味線・人形遣いという三業で一つの作品をつくる、三百年以上の歴史をもつ素晴らしい伝統芸能です。今年で入門から57年、令和5年に人間国宝に認定いただき、このたび生まれ育った八尾のプリズムホールで公演できることが本当にうれしいです。

皆様に文楽のすばらしさを味わっていただけるよう一生懸命勤めさせていただきます。今後とも文楽をどうぞよろしく願っています。

プロフィール

昭和28年、八尾市生まれ。昭和43年に文楽協会人形部研究生となり、吉田玉男（人間国宝）に入門し、吉田玉女と名乗る。翌年「菅原伝授手習鑑」「寺子屋の段」の菅秀才で初舞台（大阪・朝日座）。20世紀最高の名人と称えられた師匠の足遣い、左遣いを務めつつ薫陶を受け、師匠の当たり役であった立役の多くを受け継ぎ、芸風・芸格を継承。平成4年大阪府民劇場奨励賞。

平成5年、関西芸術大賞ゴールデン賞、平成24年伝統文化ボーラ賞優秀賞、平成26年日本芸術院賞。平成27年に二代目吉田玉男を襲名。令和2年紫綬褒賞。令和5年松尾芸能賞優秀賞、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定、八尾市文化特別賞。趣味は上方浮世絵と民芸陶器の収集、映画鑑賞。

演目

第一部 二人三番叟

天下泰平・五穀豊穡を願うご祝儀曲。
『寿式三番叟』の後半部分で、真面目とひょうきんな二体の人形が賑やかに躍動感あふれる舞をみせます。

第二部 吉田玉男記念トーク

聞き手：亀岡典子
（産経新聞大阪本社特別客員記者）

第三部 義経千本桜 道行初音旅

文楽三大名作「義経千本桜」の四段目。義経を追いかける吉野山を目指す静御前と、そのお供をする義経家臣・佐藤忠信。静御前が打つ鼓の音を聞くと、遅れていた忠信が姿を現します。実はその正体は子狐で、親狐の皮でつくられた鼓を慕い、忠信に化けて静御前のお供をしていたのでした。
桜が満開の吉野路を背景に、静御前と狐忠信がみせる華やかな舞踊の一幕です。

第1部 二人三番叟

豊竹 希太夫	（人形役割）
豊竹 亘太夫	三番叟 吉田 玉佳
鶴澤 清志郎	三番叟 吉田 玉勢
鶴澤 寛太郎	
鶴澤 清 公	

第3部 義経千本桜 道行初音旅

静御前 竹本 織太夫	（人形役割）
狐忠信 豊竹 希太夫	静御前 吉田 一輔
竹本 織栄太夫	狐忠信 吉田 玉男
鶴澤 清志郎	
鶴澤 寛太郎	
鶴澤 清 公	

囃子 望月太明藏社中

（人形部）

玉翔 玉誉 玉路 玉延 簀悠 玉征

関連展示

「文楽一筋／人形と心を重ねて」

2月5日（水）～20日（木）9時～22時（月曜休館）
1階オープンスクエア

これまでの舞台写真やインタビューで玉男さんの足跡を紹介します。

文楽を広げよう！“Ticket to BUNRAKU”シート

〈取扱い場所〉プリズムホール来館・電話

大阪が誇る伝統文化・文楽を次世代や外国人観光客のみなさんに紹介するための取組です。

対象者①25歳以下

◆年齢が確認できるものをご提示ください。

対象者②外国籍の方

◆外国籍であることが証明できるものをご提示ください。

500円
（当日割増なし）

数量
座席エリア
限定

‘Ticket to BUNRAKU’
for international audiences

Price 500yen (tax included/limited seats)

Ticket information
（En/Zh/Ko/Vi）→

